

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第12号

平成29年 7月20日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

夏休みは、『やる気』のスイッチを自分で押す 言い訳を探さず、決まった時間になったら始めよう



明日から8月24日（木）まで35日間の夏休みになります。学習面では、授業が先に進まない夏休みは、これまで学習した内容を復習する絶好のチャンスです。苦手教科を克服や、難問に挑戦していっそうの学力向上を図ることができます。また、部活動では、暑い時期ではありますが、第2学期以降の大会やコンクールに向けて精神力・体力・基礎技能を高めることが、その後の実践（戦）的な練習の質や効果に大きく影響します。

しかし、自分の生活をしっかりとコントロールすることが求められる夏休みは、それができる人とそうでない人との格差が大きくなる時期でもあります。夏休みには、自分で「やる気」のスイッチを入れることを覚えてほしいと思います。

さて、「やる気」には二つあります。一つは「志」（希望や目標）を立てたときの熱のこもった「やる気」、もう一つは日常、やるべきことを実行するときの「やる気」です。

二つめの「やる気」は、脳の「側坐核（そくざかく）」という場所などで作られます。側坐核は刺激を受けないと活動しないので、何もしなければやる気は起きません。つまり、やる気があるから行動に移せるのではなく、行動を始めてから側坐核が刺激を受けてやる気が起きるとというのが脳の仕組みなのです。ですから、勉強に関して言えば、誰もが机に向かって勉強を始めてからやる気が出てくるのであって、「勉強する時間を決める」「決まった時間になったら机に向かう」「始めたら10分間は中断しない」、こういう習慣が身に付いているかどうかが大事なのだと、お子さんに教えてください。補助的な手段として、時間になったら好きな音楽を聴きながら机に向かう、英語の教科書の音読など最初にやる勉強を決めておく、できそうな問題から手を付けるなど、自分で工夫している生徒も少なくありません。今はやりの“ルーティーン”です。

生活習慣が身に付いている子どもは、ルールの意識も高い子どもが多いようです。実は、決まった時間に起きる、同じ時間に家族と朝食を食べるといった幼児期の習慣がルールの意識の芽生えにつながっているらしいのです。長じると、そのルールの意識が習慣を守ろうと働くのでしょうか。

一つめの「やる気」は、熱を伴ったものですから冷めやすいものでもあります。その希望や目標を実現するために何をすればよいかを考えて、熱が冷めないうちに実行すべきことを生活パターンの中に位置づけ、適切な時期に達成状況を振り返るといいですね。

生徒からも熱中症予防の呼びかけ

本年度は、環境条件の判断に適しているWBGT（湿球黒球温度）を測定できる温度計を3台設置し、活動時間や休憩・給水時間を配慮するなどの対応に努めています。また、夏休みは、応急用にスポーツドリンクも常備します。



左の絵は、保健部が作成した「保健部だより」からの抜粋です。このように生徒も呼びかけてくれるのがうれしいです。小さくて見づらいたと思いますが、お子さんが持ち帰ったもので見ていただくと、間違い探しの答えも載っています。また、保健室からの「保健だより7月号」には、予防のポイントと症状診断が掲載されています。これらを参考に、生徒自らも予防に努め、適切に判断して対応できるようにすることが大切だと考えています。

各種検定試験にも挑戦しよう

英語検定試験合格者紹介

- | | | |
|-----|--------|--------|
| 3 級 | 佐藤 彩② | 行方 和厚② |
| | 小林幸太郎② | 橋本 大輝③ |
| | 吉田 充希③ | 佐浦 菜月③ |
| | 佐久間 奏③ | 吉田さくら③ |
| 4 級 | 有我 由宇① | 押切 心① |
| | 小板橋颯太① | 中潟明真音① |
| | 野崎 千聖① | 町田 にこ② |
| | 箭内 千歳② | 紛澤 和佳② |
| | 大山奈々花② | 班目 穂高② |
| | 関根 悠莉③ | 柳沼 美友③ |
| | 大久保楓花③ | 野崎 聖奈③ |
| 5 級 | 寺山 大登① | 前田 陽葵① |

本校では、漢字検定、数学検定、英語検定、歴史検定を斡旋しています。自分の学力が資格として、どの程度のレベルに相当するのか挑戦することはたいへん有意義だと思います。合格し続けるには、それ相当の努力はもちろん必要です。しかし、たとえ不合格になったとしても諦めない、くじけないということも、その人の特性・資質としてたいへん魅力的なのではないでしょうか。

この夏休みにひそかに勉強を重ね、2学期から検定試験挑戦開始といきたいですね。

夏休みを家庭教育の充実期に

須賀川二中校区の4つのPTAが、家庭教育の指針として「家庭教育10の誓い」を作成したのは、昨年度です。本年度もPTA総会の時に全家庭に配布しました。

PTAからの提案ですから校長から申し上げる筋合いのものではありませんが、この10項目に照らし、この10項目に照らし、改めるべきことを明らかにし、「我が家の重点事項」として数項目に絞って、具体的に実践してみようかどうか。

夏休みが、それぞれのご家庭での家庭教育が最も充実する期間となったら、本校生徒の2学期がさらに楽しみになりますね。



家庭教育10の誓い

- 1 家族みんなで気持ちのよいあいさつをしましょう
- 2 規則正しい生活習慣を身につけさせましょう
- 3 栄養のバランスを考えた3度の食事を心がけましょう
- 4 会話を増やし、家族のきずなを深めましょう
- 5 家族みんなで体験活動をする機会を作りましょう
- 6 家の仕事を手伝う大切さを教えましょう
- 7 生命や人権の大切さについて語り合しましょう
- 8 地域や学校の行事に積極的に参加しましょう
- 9 物事の善悪、社会のルールをしっかりと教えましょう
- 10 大人として子どもたちの模範となるよう行動しましょう

ことばの力④

「のび太を選んだ君の判断は正しかったと思うよ。あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが人間にとって大事なことなんだからね。彼なら間違いなく君を幸せにしてくれると、僕は信じているよ。」

私事ながら、今月姪の結婚式がありました。東日本大震災の時、仙台市で生活していて1週間連絡が取れなかった娘です。祝辞を頼まれたので、「お父さんに変わって言うよ。」と前置きにして、上のセリフを言いました。後で、彼女の父親が私のところにきて、

「お義兄ちゃん、オレに代わって言うてくれてありがと。・・・えっ、『(映画) ドラえもん』のセリフなの？ ああ、しずかちゃんのお父さんの。」

祝婚の言葉はもちろんまだ早いにしても、子どもの心に正対して会話を交わす機会は少ないのではないのでしょうか。もうすぐ夏休みです。作ろうと思えば、そういう機会を設けることはできると思います。例えば、お子さんが3年生であれば、進路に関するお子さんの考えや迷い、不安を共感的に受け止め、じっくり考えをめぐらせるのは夏休みかもしれません。うまく噛み合わないことがあっても、失敗ではありません。交わす言葉の中に互いの価値観がにじみ出て、お子さんの成長につながります。

一つ言い忘れました。姪のお婿さんのニックネームは、「3Dののび太くん」なのです。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。